



市社会福祉センター

◆社会福祉センターについて
問 重油漏洩は現在判明している箇所以外にないことを確認しているか。また、将来的に改築する場合、どのような施設にするかの検討も必要だと考えるがどうか。(柴田)

答 玄関前で新たな漏洩が確認された。また、玄関前から機械室までは圧力検査の結果漏洩のないことを確認している。今後のあり方については、

社会福祉センター 重油漏れ



になり、このポイントを使って様々な商品との交換や追加工事の費用に充当できる国の制度で、市内に3カ所の取次店がある。

答 当初は指定管理者制度の運用にあたっての方向性や考

(今井)

◆指定管理者制度について
問 本年度末には、30施設のうち、21施設の指定管理期間が満了となるが、契約更新時の方針の変更はあるか。

答 土壌・地下水の状況調査の結果を踏まえ、議会と相談し、早い時期に方向を示す。

◆社会福祉センターの入浴施設再開見通しは。(金子)

問 社会福祉センターの入浴施設再開見通しは。(金子)

答 法に基づく残油量調査は行っていたが、より細かい定期検査は行っていなかったため。

◆早期発見ができなかった原因は。(金子)

問 早期発見ができなかった原因は。(金子)

子どもからお年寄りまで利用できるような施設にしたいと考え、検討を始めている。

◆施設の管理体制について



現在利用が中止されている入浴施設



死亡事故の発生した大門二番町JRガード下

◆道路整備と安全対策は
問 県道床尾大門線（JRガード下）で5月9日交通死亡事故が発生したが、再発防止への今後の対応策について現地診断での検討結果は。(今井)

答 早急な対応として、歩道への進入部の段差解消、歩行者の支障となるようなポール交換、ガード内照明の検証、注意喚起看板設置の検討を行

安全な道路整備を



え方に統一的な基準等が明確でなく、今年4月に制定した「指定管理者制度ガイドライン」に基づいて更新の是非も含めて検討をしていきたい。

◆国道19号通学路安全対策
問 ガソリンスタンドやドラ

イブインなど車両出入りの激しい場所の安全対策と19号ガ

答 通学児童の安全確保のために横断歩道設置・歩道内に歩行者の滞留箇所整備等の交差点改良計画を策定して県公安委員会との協議が整い次第、早期に改良工事を実施していく。

◆高校北通線開通に伴い、郷原大門線、郷原上原線との交差点の改良見直しはいつ頃になるか。(今井)

問 高校北通線開通に伴い、郷原大門線、郷原上原線との交差点の改良見直しはいつ頃になるか。(今井)



安全対策が望まれる交差点

うこととした。長期的な研究課題である抜本的改良には、JR軌道下工事が難しいこと、用地確保、多額の費用を要する等、非常に多くの課題があるが、県・JRに対し今後も粘り強く継続的に要望していきたいと考えている。